

第199期 中間事業報告書

2023年1月1日から2023年6月30日まで



証券コード：9173



代表取締役社長

山崎 潤一



株主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、第199期（2023年1月1日から2023年12月31日まで）の第2四半期を終了いたしましたので、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、企業収益は総じて改善しているほか、個人消費が持ち直す等、景気は緩やかに回復しています。先行きについては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、社会経済活動の正常化が進展し、景気が回復していくことが期待されます。ただし、ウクライナ情勢等による不透明感が見られる中で、原油価格の高止まり、物価上昇、供給面での制約等による影響に十分注意する必要があります。

当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しく、当第2四半期連結累計期間は、前年同期比較で、乗船客数及び関連する大島島内でのホテルやバスなどの利用は回復傾向となりましたが、コロナ禍以前との比較では、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復が遅れ、乗船客数は約8割の水準に留まっています。一方で貨物輸送量は、生活関連品目が堅調に推移しましたが全体としては微減となりました。

このような状況の下、当社グループでは、コスト削減に加えて各種補助制度の利用に努め、また感染防止に取り組みながら安全運航に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、乗船客数の増加等により、売上高は60億9千8百万円（前年同期59億1千9百万円）と増加しました。一方、費用面で船舶燃料費、船舶修繕費等の増加があり、営業損失は8億2千3百万円（前年同期営業損失7億8百万円）、営業外収益に宿泊施設バリアフリー化支援の補助金収入を計上したことなどにより、経常損失は7億3千4百万円（前年同期経常損失7億3千6百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は6億2千9百万円（前年同期純損失4億4百万円）となりました。

なお、当社グループは、2023年の事業の活性化策として、「変化への挑戦 東海汽船 2023」を掲げ、この先150年、200年とバトンを繋いでいくためには、日々変化していくことが継続への力になると信じ、全社一丸となって、業績向上に努めます。

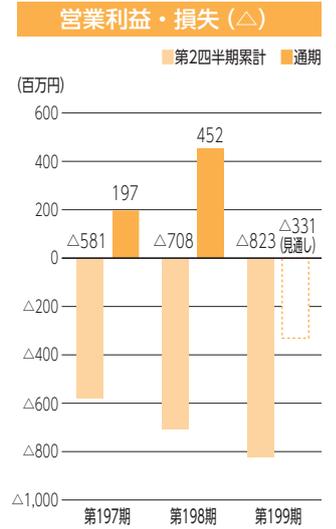
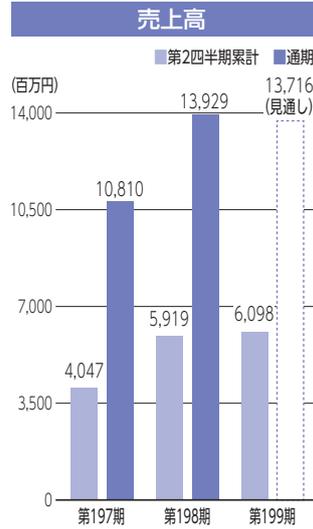
株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



財務ハイライト

(単位：百万円)

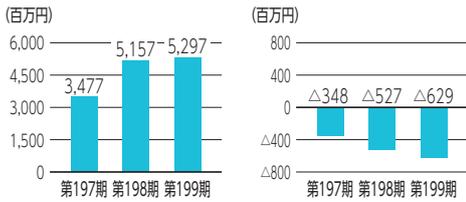
	実績			通期業績 予想
	当第2四半期 累計	前第2四半期 累計	増減	
売上高	6,098	5,919	178	13,716
営業利益・損失(△)	△ 823	△ 708	△ 114	△ 331
経常利益・損失(△)	△ 734	△ 736	2	△ 266
純利益・損失(△)	△ 629	△ 404	△ 225	△ 245



事業別の売上高・営業利益概況 (第2四半期連結累計期間)

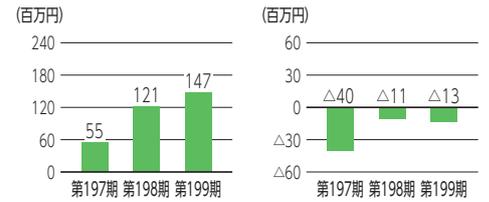
海運関連事業

売上高 5,297百万円 営業損失(△) △629百万円
対前年同期比 2.7%増 対前年同期比 -%



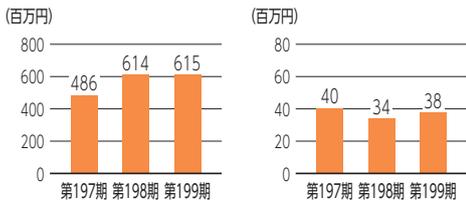
ホテル事業

売上高 147百万円 営業損失(△) △13百万円
対前年同期比 20.6%増 対前年同期比 -%



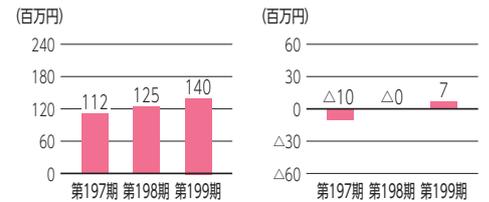
商事料飲事業

売上高 615百万円 営業利益 38百万円
対前年同期比 0.2%増 対前年同期比 11.4%増

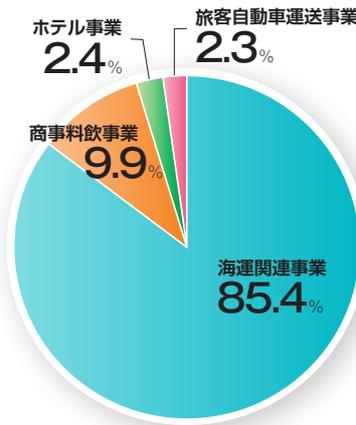


旅客自動車運送事業

売上高 140百万円 営業利益・損失(△) 7百万円
対前年同期比 12.6%増 対前年同期比 -%



売上高構成比



2024年3月開催予定の当社株主総会の送付資料について

会社法改正に伴う電子提供制度への対応として、
2024年3月に開催予定の当社株主総会より、以下の通り送付資料の変更を予定しております。



主な変更点

- 原則として「書面」から「ウェブ」でのご案内に変わります。
- これまで通り全ての資料を書面でお受け取りをご希望される場合は、書面交付請求が必要となります。

電子提供制度および書面交付請求に関するお問い合わせ先

みずほ信託銀行 証券代行部

0120-524-324 (受付時間：土・日・祝祭日を除く平日9:00～17:00)

本制度について詳しくはこちら

https://contact.www.mizuho-tb.co.jp/category/show/72?site_domain=daikou



1-3
月

第68回伊豆大島 椿まつり!

第68回伊豆大島椿まつり開催に合わせて、メイン会場である大島公園・椿プラザでは、様々な装花の演出を手掛けるフラワークリエイティブスタジオ「plantica (プランティカ)」デザインの椿まつり特別装飾を行い、椿まつり開催に合わせて、多数のツアーを催行いたしました。

大変多くのお客様が伊豆大島へ訪れ、椿をはじめ大島の大自然を楽しまれておりました。



2
月

ブリックコンテナ離島 (島ぼちバージョン)

小物入れやインテリアグッズとして人気の、てのりサイズミニチュアコンテナ「ブリックコンテナ離島 (島ぼちバージョン)」を2023年2月9日(木)より、100円ショップ等で順次販売を開始し大きな反響を呼びました。同時にTwitterキャンペーンも展開し当社ECサイト「島ぼち」のPRも実施しました。



初音ミク×東京湾夜景クルーズ

「初音ミク」とコラボレーションした「東京湾夜景クルーズ」を、2023年2月19日(日)～全4日間の日程で運航しました。本イベント開催に伴い、船内および通販サイト「島ぼち」、竹芝客船ターミナル内SHOP竹芝にてコラボグッズも販売し大きな話題となりました。



4
月

セブンアイランド友就航10周年記念 「東京湾ぐるっと周遊クルーズ」

2023年4月1日(土) セブンアイランド友就航10周年を記念して、東京湾ぐるっと周遊クルーズを実施し、ご乗船のお客様へ、てのりぬいぐるみ友をプレゼントしました。



「東海汽船 はこぶね課 1周年 おたんじょうびクルーズ」

マスコットキャラクター「東海汽船 はこぶね課」が本年4月に1周年を迎えるにあたり、「東海汽船 はこぶね課1周年おたんじょうびクルーズ」を、2023年4月1日(土)・2日(日)の全2日間の日程で運航いたしました。てのりディスプレイ「島ぼちコンテナ」付記念乗船券やオリジナルグッズの販売、さるびあ丸との船上撮影会を実施し大いに盛り上がりました。



1
月

東海汽船謎解きイベント

2023年1月29日(日)～3月26日(日)に伊豆大島で開催された第68回伊豆大島椿まつりをより楽しんでいただけるように、「東海汽船謎解きイベント 椿まつりで謎を解き明かせ」を企画し多くのお客様にお楽しみいただきました。



3
月

5代目東海汽船 マスコットガール 穂住佳歩就任!

2023年3月30日(木)5代目東海汽船マスコットガールに穂住佳歩が就任いたしました。これまでは第30代ミス椿の女王を務め、観光大使として伊豆大島の魅力をPRする活動に取り組んできました。今後は東京諸島の自然や文化、船の魅力を学び、東京の島と本土の架け橋となるよう活動してまいります。

日本大学芸術学部×大島温泉ホテル リニューアルルーム完成!

日本大学芸術学部監修のもと、伊豆大島にて運営している大島温泉ホテルの一部客室にホテル初の洋室設備を完備してリニューアルいたしました。本客室はバリアフリーとなっており、どなた様でも安心してお過ごしいただくことができるようになりました。



5
月

「島じまん2023」5年ぶりの開催!!

「島じまん2023」が2023年5月13日(土)・14日(日)の2日間に渡って、竹芝客船ターミナル・東京ポートシティ竹芝にて開催され延べ10万人を超えるお客様が会場されました。東海汽船の専用ブースでは、乗船券やオリジナルグッズが当たるくじを実施し連日多くのお客様で賑わいました。



6
月

高速ジェット船の臨時運航!

木更津・御前崎・江の島から高速ジェット船を臨時運航いたしました。今後もお客様へ島の魅力をお届けできるよう新たな航路の開拓に取り組んでまいります。





■会社概要

商号 東海汽船株式会社 (証券コード 9173)
 本社 東京都港区海岸1丁目16番1号
 創立 1889年11月15日
 資本金 11億円
 従業員数 366名 (連結)

■役員

代表取締役社長 山崎 潤 一
 常務取締役 櫻井 薫 一
 取締役 若林 英 一
 取締役 齊藤 宏 之
 取締役 櫻井 和 秀
 取締役 倉崎 嘉 典
 常勤監査役 藤間 修 一
 常勤監査役 竹崎 啓 介
 監査役 宇田川 秀 人

■株式の状況

発行可能株式総数 880万株
 発行済株式の総数 220万株
 株主数 6,968名

■大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
藤田観光株式会社	396千株	18.04%
DOWAホールディングス株式会社	150千株	6.83%
東京汽船株式会社	75千株	3.45%
株式会社みずほ銀行	52千株	2.39%
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・ 京浜急行電鉄株式会社退職給付信託)	51千株	2.32%
ENEOSホールディングス株式会社	50千株	2.27%
東海汽船従業員持株会	40千株	1.85%
みずほ信託銀行株式会社	35千株	1.59%
内海造船株式会社	33千株	1.50%
株式会社恵興	23千株	1.04%

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、自己株式 (5,291株) を控除して計算しております。

最新情報はホームページで随時公開中！



<https://www.tokaikisen.co.jp/>



■株主メモ

事業年度 毎年1月1日～12月31日
 定時株主総会 3月
 基準日 12月31日
 その他必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告して定める日。

単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 みずほ信託銀行株式会社
 郵送物送付先 〒168-8507
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法 電子公告により行います。
 (当社ホームページに掲載)
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

その他ご不明な点は、株主名簿管理人0120-288-324 (フリーダイヤル) へお電話下さい。

■株主優待

12月31日現在および6月30日現在、100株以上ご所有の株主様を対象に株主乗船割引券および株主サービス券を発行しております。

有効期限

4月1日～9月30日 (権利確定日12月31日、優待発送3月中旬)
 10月1日～翌年3月31日 (権利確定日6月30日、優待発送9月中旬)

■株主乗船割引券

●発行方法・優待内容

100株以上保有されている株主様に、所有株式数にあわせて下記の通り株主乗船割引券を発行致します。

- ・100株～199株 10枚 (1冊)
- ・200株～399株 20枚 (2冊)
- ・400株～599株 30枚 (3冊)
- ・600株以上 40枚 (4冊)

■株主サービス券

●発行方法

・100株以上保有されている株主様に、株主サービス券を一律1冊発行致します。

●優待内容

- ・東海汽船 企画旅行15%割引券 5枚
- ・大島温泉ホテル 宿泊割引券 5枚
- ・大島温泉ホテル 朝食休憩割引券 5枚
- ・東海汽船グループ ショップ・売店15%割引券 5枚
- ・大島バス1日・2日乗車券割引券 5枚
- ・竹芝客船ターミナル内レストラン「HARBOR」割引券 5枚

